

2011年7月22日 第9号

発行：千葉スクラムユニオン
千葉市中央区祐光2-5-8
ハイツカメリア202号
TEL/FAX:043-221-2525
E-mail:t-oyana@lapis.plala.or.jp
URL:http://scrunion.web.fc2.com/



会社や職種に関係なく
一人でも誰でも入れる
労働組合
千葉スクラムユニオン

発行責任者：大嶋甲三 編集責任者：平野良成

未組織の仲間たちの働きざまが明らかに 1年間で8件の労働相談 千葉スクラムユニオン第三回定期大会

7月21日千葉市内において千葉スクラムユニオン第三回定期大会が開催されました。

大会には来賓として、新社会党から宮川労働運動委員長、憲法を活かす会千葉県協議会の工藤事務局長、国労千葉地本の坂口書記長、結成当時からお世話になっている東京のユニオンネットお互いさまから斉藤委員長、NTT関連合同労組千葉

支部米良書記長、そして郵政労働者ユニオン関東地本の椿書記長と佐倉分会の宇田川分会長の皆様が駆けつけ連帯と激励の挨拶を述べました。

小柳書記長は、この1年間で行った8件の労働相談案件の報告、特に現在係争中の郵政事業会社佐倉支店による3名の期間雇用社員への雇い止め問題については、

労働者の働きざまと、交渉をやるにしても、窓も冷房もない狭い倉庫のような部屋で、これが天下の郵便局かと思わせる理不尽な会社の姿勢が報告されました。引き続き、会計報告、11年度活動方針および予算案が承認され、大嶋甲三委員長、江尻昭正副委員長、小柳敏朗書記長、他執行委員

**労働相談
ホットライン**

一人で悩まないで
あなたの悩みを
一緒に解決します。

043-221-2525
午後5時～8時

および会計監査、2名の顧問を再任し、大嶋新委員長の「団結がんばろう」で大会は終了しました。

こんな世の中「変させよう 不満を口にするときは会社を辞めるつもり」

今日、働き続け、生き続けることが日増しに困難になっていきます。雇用の保障もなく満足な賃金さえも得られず、失業率は5・2%と高水準です。非正規労働者は1700万人に及び、その多くは年収200万円以下です。自殺者は毎年3万人を超えています。貧困による自殺、殺人、子どもへの虐待など、連日のように報道されています。

労働法さえ守らない経営者が涼しい顔をして、職場を「会社天国」にしています。このようにして大企業の内部留保金は240兆円という膨大な利益を溜め込んでいます。

3月11日の未曾有の大震災が東北を中心とした東日本を襲い、多くの尊い命が奪われ、そして不自由な避難生活を余儀なくされています。さらに、東京電力福島第一原発事故が追い討ちをかけ、いまだに収束のめどさえついていません。この震災を機に政治は挙国一致、大連立構想を掲げ、消費税や震災復興税などの増税と「憲法改正」による民主主義と権利の封じ込めという危険なきざしも見過ごすことはできません。

私たちは、労働相談を通してユニオンが一緒に闘うことで、運動が一步広がっていく可能性を見出しました。今後とも下から、地域から労働運動を再生する役割を展望を持って進めていきます。

何よりも労働現場に政治の手が届いていません。企業は雇用の「在庫」を持たず「いつでも雇い、いつでも解雇」できる状態に置き、



千葉スクラムユニオンは、

(大会議案より)